

現代用語の 基礎知識

自由国民社

1997

自由国民版 '97.1

特集

進化する僕ら

特集

日本の疑問を基礎から考える

- 日本の財政の何が危機なのか
- 日本の社会保障は破綻しないか
- 日本の選挙制度はこれでいいのか
- 日本の外交はなぜぎこちないのか
- 日本の「領域」はどこにあるのか
- マルチメディアはどれだけ便利なのか

別冊付録

生活基本情報事典

いざというとき役立つ常識・新百科

子育ては、楽しみや
生きがいになっていますか

●資料=総務庁(1995)

単位
%

Japan

23.0

14.9

13.0

12.0

11.0

10.0

アメリカの親は子育てを積極的にとらえている。それに比べると、日本の親はやや消極的。職場に家族の写真を飾るアメリカ人と、定期入れに子供の写真を忍ばせる日本の父の姿が垣間見える結果だ。

容赦なく厳しく甘やかすべし！

進化する 親子

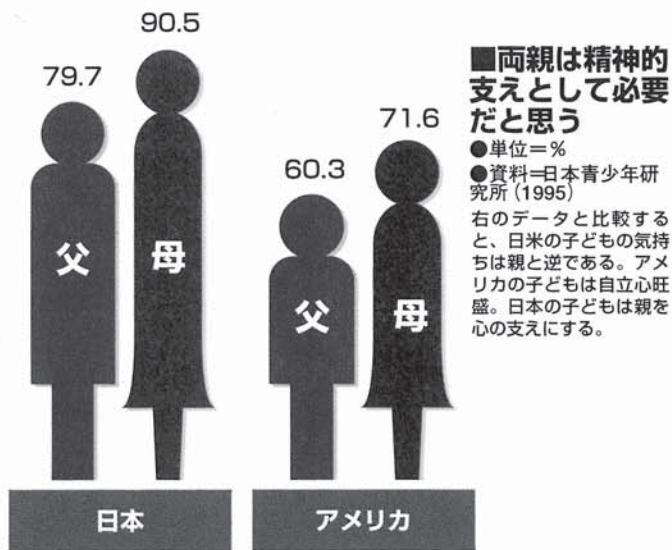
自分の子どもより「自分自身」をかわいがる親がいる。例えば彼らは、子どもとの徹底的な対立を避け、物分かりがよく、それを「優しさ」とと思い込んでいる。子どもに無関心で置き去りにしても、それを「不注意」といわない。愛という名のもとに子どもを束縛し、「自分」の考えをおしつける。娘の売春を知らない父親。ブランド品の鞄がどういうルートで手に入ったかを問い合わせようともしない。パチンコに熱中し、わが子をなくした母。車の中に放っておいて脱水症状にも気づかなかつた。早期教育が情操教育だと思っている両親。自分の子どもだけは、心ない受験ロボットにならないと信じている。やがて、歪んだ愛に慣れた子どもは「自分」の世界に籠もる。「個性」というアリバイを武器に自らの欲望に向かって突き進む。犯罪を犯してもその重みすら味わえなくなる。親が親らしく、子どもが子どもらしくあった時代。そのあとに訪れるのはどんな関係なのだろう。

今の若い人たちを見ていてすごく感じるのは、孤独に耐えることができないってことだよね。孤独に耐えられない人間で、自分をしつかり見ることができない。自分の資質や能力を客観的に判断できない。最近、自意識ばかり肥大して自分は特別なんだって思つてゐる人が多いけど、彼らは同時に等身大の自分自身を知ることをものすごく恐れてる。だからすぐ自由なんて言葉を安易に口にする反面、集団に吸い寄せられやすい。で、そうしたことって結局は彼らが子どもだつたころの環境が大きな原因なんだ。

とにかく、あらゆる共同体というものがどんどん希薄になってきてる、あるいは破壊されているわけでしょう。お互

いを尊重する個人主義、個人の自由を認める自由主義が徹底されて、みんなが相対化された個になった。家族っていう、本来最も濃密な共同体すらも。今親つて子どもに嫌われたくない、子どもに好かれたいと思つてゐるよね。というより自分という個が大切で可愛いから、子どもに嫌われて傷つきたくない。だから叱れない。昔の、子どもに嫌われるのを覚悟してぶん殴つていた父親というのは、子どもが可愛くて、それこそ自分より可愛いから、自分が傷つくのを覚悟して子どもを叱つた。だから父親つていう存在は、特に男の子にとっては、大嫌いな存在だつた。と同時に最も安心できる存在だつたんだ。わしも親父は大嫌いだつた。悪いことすれば殴られる、屏越しに裏の竹藪に放り投げられる、風呂に放りこまれて蓋を締められる……、褒められたことなんて全く無い。でも小さいころから小児喘息だつたわしが発作を起こすと、どんな夜中でも、起きて診てくれる医者が見つかるまでわしを背負つて走り続けてくれる親父でもあつた。親は子どもをしつかり見つめ続けてその存在を評価してくれる、同時に、しつかり叱つて、突き放して、自分で自分を見つめて行動に覚悟を持つことを教えてあげる存在だと思う。わしはそれを「容赦なく厳しく甘やかす」つて言つてるんだけど。でも、今日立つのは相対化した「自由な個人」たちだよね。ただ、そんな彼らにも根底にはすごい不安感があるんだ。束縛されずに自由なんだけど、そういう状態はごく一部の人間を除いてとても不安なものだから。完全に自由なひとりの個として立ち続けられる人つて、そんなものいるものではない。自由つて恐ろしいものなんだよ。だから、不安にとらわれた自由な個は集団に走る。何かに対して働きかける集団とか、宗教とかね。会社組織に入つてその一員になることを「歯車になる」なんて考える若い人もいるけれど、それもいいじゃないか。自分の役割を全うするんだよ。ただ、そこでもその人間をきちんと評価し、あるいは叱つてあげられる上司、つまり父権の責任は大きいけどね。（談）

◆漫画家 小林よしのり

**■親から殴られたことがある**

●単位=% ●資料=博報堂生活総合研究所(1994)

	yes	no	不明
若者(19~22歳)計	69.9	30.0	0.1
性別	男性	73.2	26.6
	女性	66.4	33.6
職業	学生計	67.5	32.5
	社会人計	72.5	27.3
29~32歳	男性	67.0	33.0
	女性	57.0	43.0

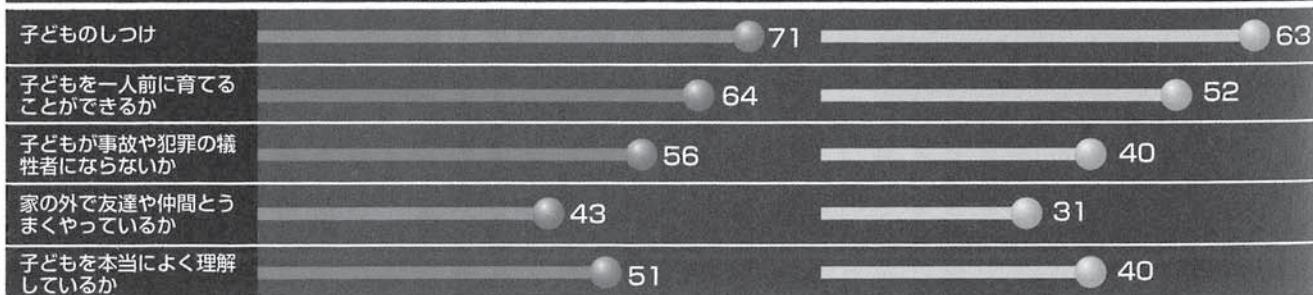
3割の親が子どもを殴らない。この数字は多いのだろうか。それとも?

■母としての不安を感じるものは何ですか

●単位=% ●資料=博報堂生活総合研究所(1993)

1993年

1983年



この10年で日本の母の意識はだいぶ変化した。子どもの自由を尊重し、ひとりの人間として人生を充実させていくとする女性が増加している一方、母親としての不安は増大している。

現在の子どもは私たちの親や祖父母とは違う生まれ方をしている。現代の、少子化時代の子どもたちは親の人生設計に沿って生まれてくる。子どもたちはもはや神さまからの授かりものや恵みではなく、親が自らのために設計した人生コースの中に、予め役割を与えられて生まれてくる。子産みは今や、親の人戦争における重要なタクティクス(戦術)である。妊娠のタイミング、子ど�数、子どもの人生コースなどを慎重に測って人々は親に戦う。自らの人生を豊かにし、成功に導くための子産みであり、子育てであるのだから、親は子どもに期待した役割の遂行を求める。言葉に出さなくとも、素振り、視線で求める。子どもは親の期待を読み取り、それに沿って生きようとする。こうして現代の子どもは、親の連れ歩きたい人形、親の果たせなかつた願望の肩代わり役、親の自慢の種、親の愚痴の聞き役、親の権力のままになる奴隸などのうちのどれか、あるいは幾つかになる。「進化する親子」とは、こんなふうに親や世間にとつての「都合の良い子」、「ロボット化した子」が育つことである。しかしここには陥りがある。親の欲望を読み取ることに汲々としているうちに、子どもたちは、自らのうちにうごめく欲望や感覚にたじろぐようになるのである。そしてそうした欲望や感覚を排除したり、歪曲しようとしたりする。例えば性欲が排除・歪曲され食欲に転換されると過食症になる。性欲(やその結果としての精液)による汚れを淨めるための洗手脅迫にエネルギーを吸い取られている者もいる。良い子であることを見られてテレクラやドラッグに走る者も出てくる。現代の子どもたちにとって、この種の問題をおこすのは、成長への一つの道になつていて。親との融合を拒否し、分離・個別化へと向かう動きは、それ自身成長の過程である。その過程で親は子どもたちから厳しい批判を受ける。「親の愛」と称する暴力

「親の愛」への批判
斎藤学 精神科医・家族機能研究所代表

現在の子どもは私たちの親や祖父母とは違う生まれ方をしている。現代の、少子化時代の子どもたちは親の人生設計に沿って生まれてくる。子どもたちはもはや神さまからの授かりものや恵みではなく、親が自らのために設計した人生コースの中に、予め役割を与えられて生まれてくる。子産みは今や、親の人戦争における重要なタクティクス(戦術)である。妊娠のタイミング、子ど�数、子どもの人生コースなどを慎重に測って人々は親に戦う。自らの人生を豊かにし、成功に導くための子産みであり、子育てであるのだから、親は子どもに期待した役割の遂行を求める。言葉に出さなくとも、素振り、視線で求める。子どもは親の期待を読み取り、それに沿って生きようとする。こうして現代の子どもは、親の連れ歩きたい人形、親の果たせなかつた願望の肩代わり役、親の自慢の種、親の愚痴の聞き役、親の権力のままになる奴隸などのうちのどれか、あるいは幾つかになる。「進化する親子」とは、こんなふうに親や世間にとつての「都合の良い子」、「ロボット化した子」が育つことである。しかしここには陥りがある。親の欲望を読み取ることに汲々としているうちに、子どもたちは、自らのうちにうごめく欲望や感覚にたじろぐようになるのである。そしてそうした欲望や感覚を排除したり、歪曲しようとしたりする。例えば性欲が排除・歪曲され食欲に転換されると過食症になる。性欲(やその結果としての精液)による汚れを淨めるための洗手脅迫にエネルギーを吸い取られている者もいる。良い子であることを見られてテレクラやドラッグに走る者も出てくる。現代の子どもたちにとって、この種の問題をおこすのは、成長への一つの道になつていて。親との融合を拒否し、分離・個別化へと向かう動きは、それ自身成長の過程である。その過程で親は子どもたちから厳しい批判を受ける。「親の愛」と称する暴力

現在の標準的な日本語とは何だと思いますか

資料=NHK放送文化研究所(1989,96)

進化する日本語

言葉は時代の変化に敏感に対応しながら、あるいは変化を象徴しながら、日々、進化し続ける。

そして今、社会はその変化の速度をいよいよ加速している。昨日までは夢でしかなかった新しいコミュニケーションのメディアが、今日は子どもたちのポケットに収まっている。インターネットはリアルタイムで世界中の“個人”を結び、人々と増えづける外国人たちの会話が拍車をかける。あらゆる変化が日本語を刺激し、その進化をうながしている。

1982年、ある国際会議で、日本のメーカーの会長が語っていた。「21世紀には、自動翻訳機を実現します」。あれから15年、確かにそれは実用化されたが、入り組んだ会話を処理するにはまだ機械だけでは無理だという。言葉が「生きている」証しだろう。

日本語はどう進化していくのか。そして、その“美しさ”はどんな変貌をとげるのだろう。



■言葉の規範意識

●単位=% ●資料=NHK放送文化研究所(1996)

ことばは通じさえすればよい	42.4
ことばの変化や乱れは好ましくない	50.3
その他	7.3

亂れた日本語を罰する法律は、少なくとも日本にはない。というかアの運営もけしからんと思うのもご自由に！

言葉そのもののもどかしさの破壊としての“キヨイレピスバヤ”

日本語はより慎ましく優しく

ここ数年、日常会話で頻出するのは「ていうか」である。聞き手の話を真正面から否定せずに、しかし異なる見解を「ていうか」のあとに続ける。「とか」も多用される。「映画とか買い物とか」と並列するのではなく「お茶とかしてエ」のように。「昨日ライブ?で、ギター?弾いてた彼?」のような疑問文調も、やたら耳につく。

相手の意見を否定しない、断言は避け曖昧なままに、自分の話といえども相手に同意を求めて進める。実に慎ましく優しい。MM(マジムカツク)、チョベリバといったコギャルの罵倒語も、本来は言われた相手には通じない内輪の言葉という点で、慎ましい優しい。つい「日本語の乱れ」などと言ってしまいがちなこれらの進化も、実は日本古来の美德の継承にほかならないのである。

言葉はもっと無責任に語られていい。そう考える少数派には「言葉狩り」との戦いも含め、当分辛く楽しい時代が続きそうである。

二〇年ほど前に仲間内で会話を短縮するのが一時期流行し例えば“バキ”とか“キヨイレピスバヤ”などは名作として今でも俺の記憶の歩道橋をちゃんと渡つて来てくれるのに今時の“チョベリバ”などはたいしたことねえもんだと思うがたいしたことねえから流れるんでしてなもんでその“バキ”とは“バスが来たから乗ろう”であり“キヨイレピスバヤ”に至つては“今日「11PM」で助平な番組やらねえかなあ”なのだから当時いきなりこれを言われて即座に理解できた者など一人もおらず、意味を知った後も過度な短縮作法に笑うよりも一同感心し呆れるばかりだったのは我々が楽しんでいた短縮言葉は遊びの中の連帯感の確認と言葉そのものもどかしさの破壊にあつたからだと思うわけで、俺はジャズマンの反転言葉や職人の隠語を使いはしないが大好きなので最近のコギャル用語はもつとやれやれと思っているが口のきき方を知らぬ、とは言語用法の乱れぶりそのものに感じるのではなくその態度・行儀つまりは駆けの結果によることが大変大きいのでありほつたらかされた後にルールの厳しい場に出て敗北感や疎外感を感じるとそれに反抗するためによけい粗暴になつてしまふのもまた肉食哺乳類のDNAのせいに他ならず何によらず白も黒もつけないのが平等という腰抜け教育的御指導こそ現在の日本語全般における語尾上がりの元凶に決まっており何事によらず天にお伺いを立てねば決断できぬ体質(決断とは何か)を断つて捨てることであり、捨てられる者の身になつたらそんなかわいそうなことはいけません(である)こそ博愛であるといふ教えのおかげさまでねしかも日本語はダメでカタカナはOKというまやかしまでまかり通るから“障害”はダメで“ハンドイキヤップ”はよろしいなどとは、あんたどこの人?と問いたくなるからアクセントの後移動と語尾上がりの不快感と改造語を俺はやっぱわザト使おうと思。

◆著述業・幻の名盤解放同盟常務

湯浅 学

日本の 社会保障は 破綻しないか

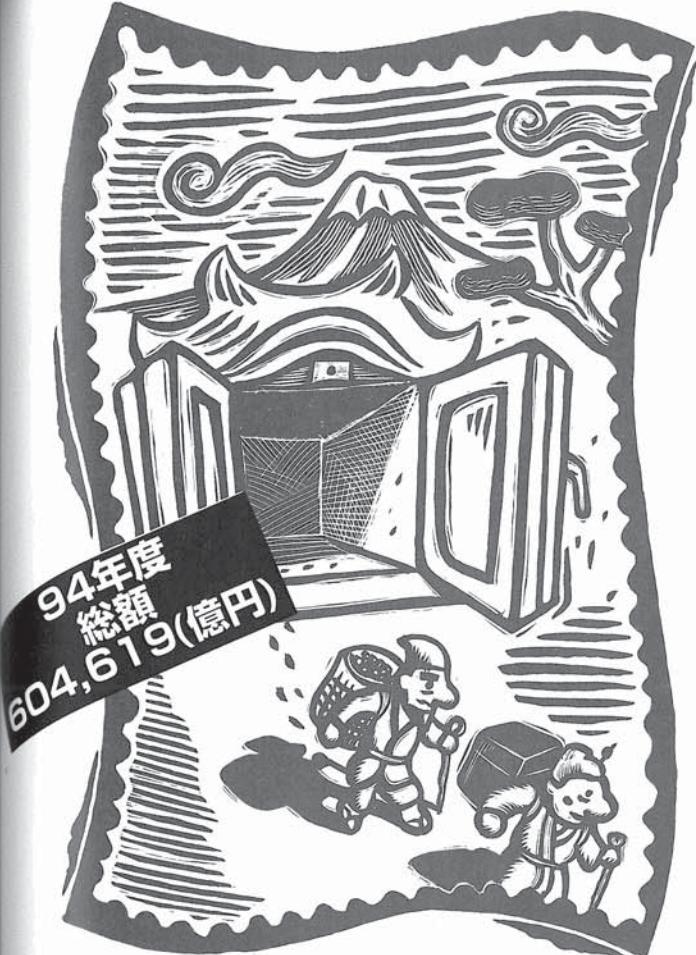
一橋大学教授・高山憲之

卷頭特集

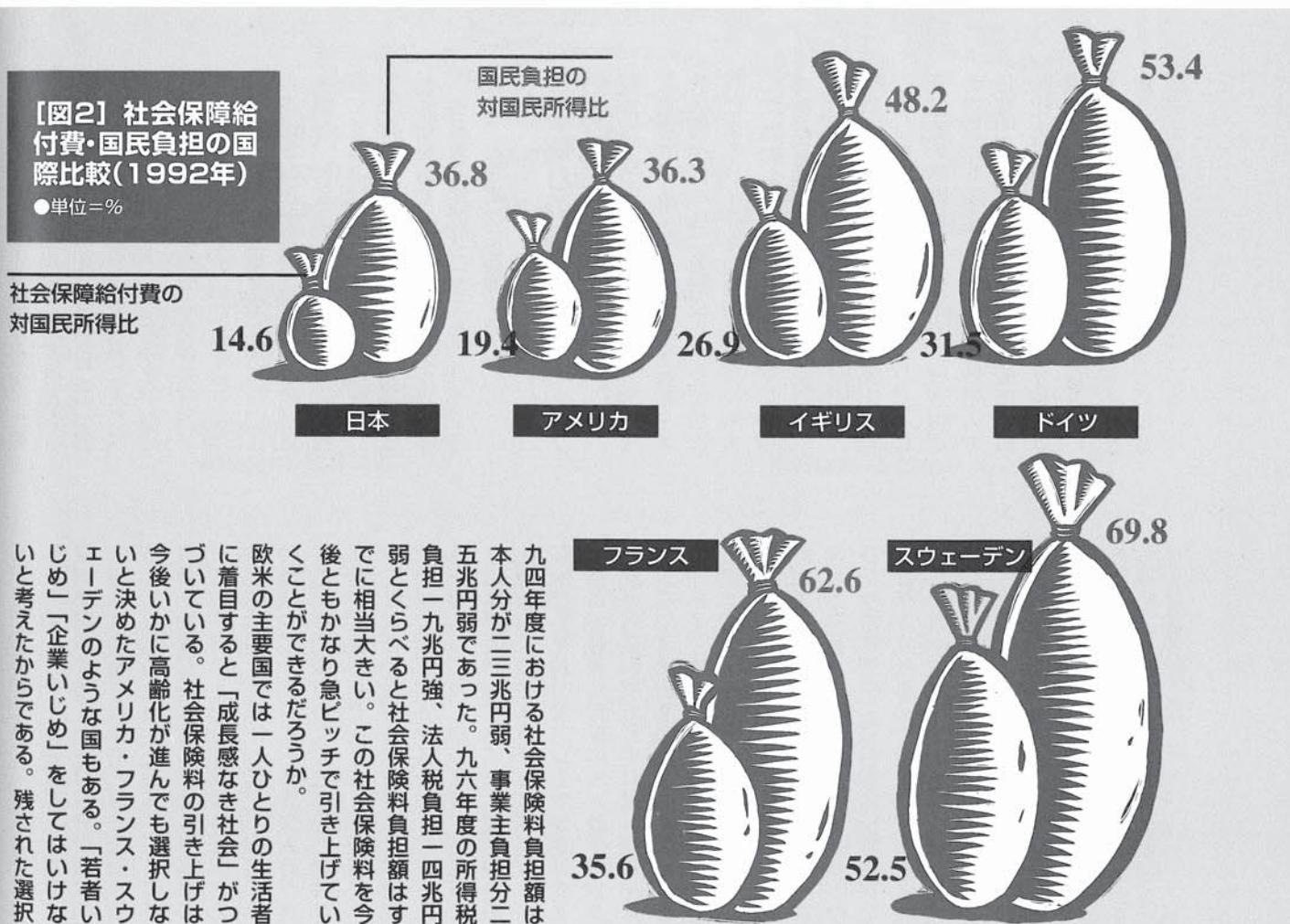
日本が「成長感なき社会」 になると

一九九四(平成6)年度の社会保障給付費は総額で六〇兆円強となつた。年金給付は三一兆円強に達し、そのほぼ半分を占めている(図1)。また社会保険給付の六割強(三七兆円強)は高齢者関係の給付である。

欧米の主要国とくらべると日本の社会保障給付費(対国民所得比)は今のところ相対的に低い(図2)。ただし人口高齢化がさらに進むと、その水準は現在の独仏と同程度になる。また同様に他国にくらべて低い水準にある国民負担率も徐々に上昇し、いずれ五〇%強に達すると予想されている(図3)。



[図1]社会保障給付費



九四年度における社会保険料負担額は本人分が二三兆円弱、事業主負担分二五兆円弱であった。九六年度の所得税負担一九兆円強、法人税負担一四兆円弱とくらべると社会保険料負担額はすでに相当大きい。この社会保険料を今後ともかなり急ピッチで引き上げていくことができるだろうか。

欧米の主要国では一人ひとりの生活者に着目する「成長感なき社会」がつづいている。社会保険料の引き上げは今後いかに高齢化が進んでも選択しないと決めたアメリカ・フランス・スウェーデンのようないい国もある。「若者はじめ」「企業いじめ」をしてはいけないと考えたからである。残された選択

言及している。なかでも、宗教でいうところの奇跡は偶然起きるのではなく、「条件さえ整えば、必ず起きる」ということを論理的にあますことなく説いていた箇所は圧巻。

〔ココロに効く本〕

【図3】国民負担率の伸びの見通し

『21世紀福祉ビジョン』

●単位=%



(注)

1. 国民所得等の伸びの仮定等が変化すれば数値は相当の幅で変動するので、数値を確定的なものと受け取ることは適当でない。
2. 国民負担率は、社会保障に係る負担（社会保障負担及び公費負担）に、社会保障に係るもの以外の租税負担（平成5年度20.8%）を単純に加えた数値。

それを無視して、たとえば厚生年金の保険料を5年に一回の間隔で一・五%ずつ引き上げていくことを年金財政の論理だけで求めても、その受け入れ可能性は低い。

日本は社会保障給付の削減しかない。これが、これらの国の現実である。一方、二一世紀に向けて日本はどうか。経済成長が持続し、現役組の所得が着実に上昇していくかぎり社会保障料を引き上げていく余地がある。他方、「親の世代より豊かになれない」「親が現役組の心を支配しはじめたら、社会保険料の引き上げは困難になる。現役組や企業の懐具合次第であり、そ

高齢化対策より 少子化対策を

日本の将来を展望すると、肥満ぎみのサラリーマン年金（月額二〇万円強の年金給付は大卒の初任給より高い）や、無駄の少なさない医療給付をスリムにする一方、それで浮いた財源を出産・子育て支援や介護サービスの充実に振り向ける必要がある。とくに出生率は今のところ下げる気配を一向にみせていない。日本の総人口はほぼ一〇年後から減少はじめ、一〇〇年後には半減ないしそれ以下に急減するおそれが強い。子供を産み育てる営みが社会的に感謝も敬意も受けない中で「子供は自分ではつくらず他人に産んで育ててもらおう。そして年をとつたら、その子供達に年金等で世話をなる」といいう選択が最もトクでありラクとなってしまった。「子供は勝手に産んで育てなさい」といつているかぎり日本は「子供のいらない社会」へ突き進んでいく。中高年者主体の日本は新技術への適応力が徐々に鈍っていく、最終的に社会も経済も衰退していくだろう。その衰退を未然に防ぐためには出産や子育てに伴う障害をできるかぎり取り除く必要がある。父親の子育て参加を可能とするために企業の労働慣行・

れを無視して、たとえば厚生年金の保険料を5年に一回の間隔で一・五%ずつ引き上げていくことを年金財政の論理だけで求めても、その受け入れ可能性は低い。

従業員業績評価システムを見直すとともに、行政の出産・子育て支援策を抜本的に強化することが急務である。

社会保障は破綻しないが…

年金給付のスリム化（高額年金のスライド一時凍結、満額年金支給要件の四年拠出への変更、年金標準モードルの共働き世帯モードルへの切り替え、高額年金給付の課税強化等）、医療における無駄の少なさない医療給付をスリムにする一方、それで浮いた財源を出産・子育て支援や介護サービスの充実に振り向ける必要がある。とくに出生率は今のところ下げる気配を一向にみせていない。日本の総人口はほぼ一〇年後から減少はじめ、一〇〇年後には半減ないしそれ以下に急減するおそれがある。子供を産み育てる営みが社会的に感謝も敬意も受けない中で「子供は自分ではつくらず他人に産んで育ててもらおう。そして年をとつたら、その子供達に年金等で世話をなる」といいう選択が最もトクでありラクとなってしまった。「子供は勝手に産んで育てなさい」といつているかぎり日本は「子供のいらない社会」へ突き進んでいく。中高年者主体の日本は新技術への適応力が徐々に鈍っていく、最終的に社会も経済も衰退していくだろう。その衰退を未然に防ぐためには出産や子育てに伴う障害をできるかぎり取り除く必要がある。父親の子育て参加を可能とするために企業の労働慣行・

たかやま・のりゆき 一九四六年長野県生まれ。東大大学院を経て一橋大学経済研究所教授。著書に「年金改革の構想」「ストック・エコノミー」「貯蓄と資産形成」など。

日本の選挙制度はこれでよいのか

慶應義塾大学教授・小林良彰

卷頭特集

今回の衆院議員選挙で導入された制度の経緯と問題点
従来の中選挙区制から小選挙区比例代表並立制に制度を変えた衆院議員選挙が一九九六(平成八)年一〇月、施行された。この並立制は、元々は海部内閣における第八次選挙制度審会で望ましい制度として答申されたものである。並立制に賛成する人達が、メリットとして挙げたのは、次のような点である。

まず第一に、政策本位の選挙が行われるという主張がある。しかし、並立制は、現行の参議院の選挙制度とかなり似ているものである(現在の参議院は比例代表と選挙区選挙で行われており、この選挙区選挙のかなりの部分が一人区、つまり小選挙区である)。そ

[図1]
小選挙区制における決定プロセス



[図1の解説]

有権者が5人づついる5つの町があるとしよう(ア～オ)。アの町ではA案を支持する有権者が3人、B案を支持する有権者が2人、イ、ウでも同様、エとオでは5人全員がB案を支持している。ア～オをそれぞれ一つの小選挙区として、5つの小選挙区から各1人ずつ5人の議員が選出されるすると、アの町では3対2でA案を主張する議員が当選する。イ・ウでも同様にA案を主張する議員が当選する。これに対してエ・オでは5人ともB案を主張しているために、B案を主張する議員が当選する。この5人の議員が集まって国会を結成すると、3人の議員がA案、2人がB案を支持していることになり、多数決により社会的な意思を決定すると、A案がこの社会の決定になる。しかし、元の25人の有権者の主張を個別に振り返ると、A案を主張している人は、合計9人、一方、B案を主張し16人いる。つまり、有権者全体ではB案を主張する人が多いのである。ところが、多数決民主主義に基づいて小選挙区で決定を行うと、社会的な決定はAになる。

れでは一体、参院議員選挙では政策本位の選挙が行われているのであろうか。振り返ってみると、たしかに八九年の参院選も同様である。そして実際、今回の参院選においても、明確な政策上の対立が、選挙の争点となつたかというと、おぼつかない。このように考えてみると、並立制であるかないかということ、すなわち選挙制度の問題と政策本位の選挙になるかどうかということは無関係なのではないであろう。

第二に、政権交代が可能だからこの制度変更がいいという主張がある。しかし、これは全く大きなお世話である。政権交代を起こしたいかどうかを決めるのは有権者である。例えば、並立制に基づいて過去の参院選の得票データを当てはめてみると、各党の得票率と議席率が大きく現実とずれ、五〇%を下回る得票で過半数の議席を得る政党が次々に出現する。つまり、得票率の変化ではなく、選挙制度の変化によって政権交代が起こることになってしまふ。その意味で、有権者の意向を反映したものとはいえないだろう。有権者の意思によらない決定が構造的になされるような制度改革では、民主主義の徹底をめざした改革としては、本末転倒であろう。

第三に、小選挙区制は一大政党となり、安定政権を作りやすいという主張がある。確かに並立制によるシミュレーション

特集
日本の疑問を
基礎から考える

小選挙区制の問題点
今回の衆院議員選挙においては議席の六割が小選挙区制によって選出された。ここではこの小選挙区制が、

ヨンでは特定の政党が七〇八割の議席を取ることも考えられる。しかし、安定した政党制、つまり一党優位体制を望むのか、あるいは連合政権を望むのかを決めるのも、第二に議席をとる様、有権者であるべきで、政党でも選議席を取らせたいと思えば、一〇%の議席が取れるような選挙制度、つまり有権者の民意をそのまま忠実に反映する選挙制度こそが望ましいのではないであろう。

第四に、並立制にすれば、派閥争いがなくなり、政治がきれいになる、あるいは金がかからなくなるという主張がある。しかし、候補者の決定をめぐり、派閥争いが内部化する恐れがある。これまでには有権者が○○派の議員がいいのか、あるいは××派の議員がいいのかということを選ぶことができた。その意味でオープンな派閥争いであったのが、今後は各党の県連や幹事長の候補者決定をめぐるクローズな派閥争いに変わる恐れがある。特定の政党の候補者になれば当選確実な地域も多いため、政治家の顔が自然のことながら党の県連や中央の幹部の方を向き、有権者が無視される可能性がある。

巻頭特集

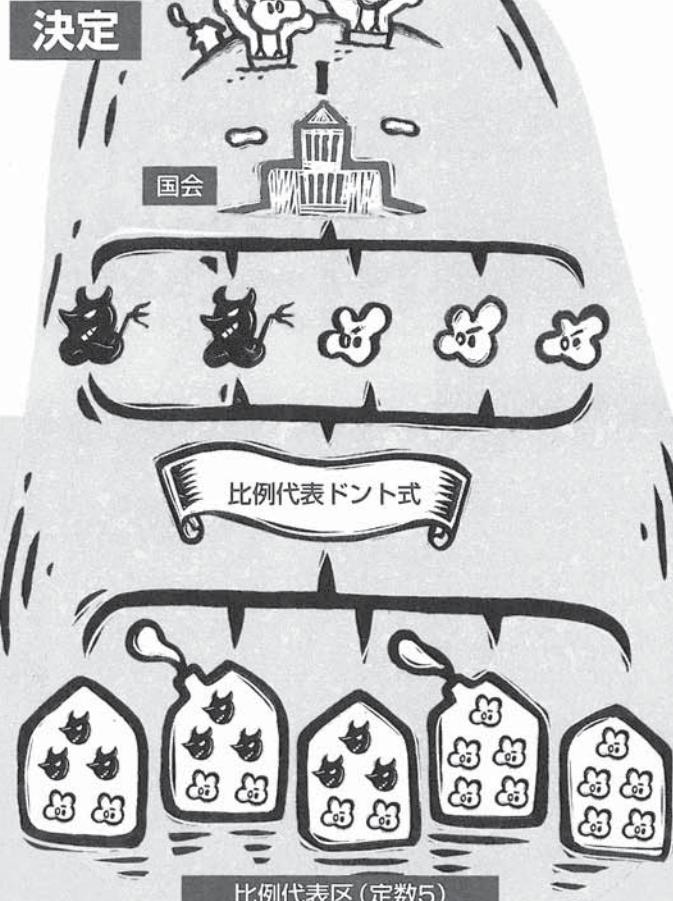
[図2] 比例代表制における 決定プロセス

- 有権者A
- 有権者B

議員の選好

有権者の選好

比例代表区(定数5)



[図2の解説]

それでは比例代表制ではどうなのであるか。今と全く同じ状況を想定してみることにしよう。これを仮に比例代表(ドント方式)で国会議員を選ぶとすると、A案を主張する政党が9票、B案を主張する政党が16票を獲得することができる。これを、1・2・3を除数とするドント式で議席配分を行うと、A党が2議席、B党が3議席を占める。したがっての国会で多数決を行うとBが社会の決定として出てくることになる。

●比例ドント方式の計算

A=9 B=16 したがって下記のように大きな値の上位五位は*となり、A党が2議席、B党が3議席を得る。

	A党	A党
得票数	9	16
分母	1 * 9	* 16
1	* 4.5	* 8
2	3	* 5.3
3	2.3	4
4		
⋮	⋮	⋮

そもそも民主主義にはなじまないといふことを指摘したい。その理由は、小選挙区選挙制の選挙の下では、多数決を二回行うことになるということである。小選挙区で議員を選ぶときに一回、そして国会の議決でもう一回である(図1)。極論すれば、多数決は一回行う度に五一%の有権者の意見を残し、残りの意見を排除する。したがって、多数決を二回重ねれば、五一%×五一%、すなわち二六%の有権者の意見が全体を支配することになる。したがって、小選挙区制度は民主主義における多数決原理を根本から否定しかねない選挙制度であるということができる。一方、比例代表制では、多数決民主主義をそのまま反映することが可能になる。なぜなら、多数決を一回、すなわち国会の議決の時にしか使っていないのである(図2)。

第一に、民意を反映する選挙制度でなくてはならない。つまり、得票率と議席率の相関が高い選挙制度、また死票の割合が少ない選挙制度が良い選挙制度であると思われる。第二に、顔、すなわち政治家も選べる選挙制度が望ましい。つまり、政党だけではなく、誰を政治家としたいのかということも有権者に選ばせる選挙制度がいいよう思われる。第三に、一票の格差がない

卷頭特集

選挙制度である。そして最後に、最近の有権者の低投票率からかんがみて、有権者の関心が高まるような選挙制度であれば、なお望ましいのであろう。こうした基準に照らして並立制を検討してみると、これまで見てきたようにどう考えても合格点をつけるわけにはいかない。まず並立制では、第一の基準、民意の反映ということを全く無視している。さらに参議院比例代表区選挙のように、第二の基準、顔を選ぶことができない。それでは、第一から第四の基準を満たすような選挙制度があるのだろうか。そこで、私はこれらを基準を満たすものとして、次のような定数自動決定式比例代表制を提唱することにしたい。

まず、総定数は公職選挙法本則の四七一あるいは五〇〇程度にすべきである。第二に、選挙区は人工のものを、新たに作ろうとすればゲリマンダーを避けることができないため、現行のものを用いるのが望ましい。例えば、都道府県という区割りは人為的に変えることができるが、民意を反映していない。また、現在の衆議院の中選挙区制の区割りを用いても構わないし、北海道については支庁の区割りを利用する方法もある。候補者については、各政党は各選挙区毎に順位を定めずに名簿を作る（非拘束式名簿）。こうして作られた名簿に対して、有権者は一人一票制で候補者名、または政党名のいずれか好きな方を記入することとする。つまり特定の政治家に

議員をやつてもういたいと思えば、その候補者の名前を書けばいいし、また、特定の政党であれば誰でもいいというのであれば、単に政党名を書けばいい。いずれか自分の好きな方を選べばいいという投票方式とする。

こうした投票の結果に基づいて具体的にどのように議席を配分するのか。まず全ての投票、つまり候補者名の投票、あるいは政党名の投票を合わせて政党別に全国集計し、サンラグ式で比例配分することにする。次に、こうして各政党に割り当てられた議席数の各都道府県（各選挙区）への配分は、得票比、つまり（その政党が各選挙区で獲得した得票数／その政党が全国で獲得した得票数）の割合に応じて行うこととした。

[図3] 各選挙制度の特色

	小選挙区制	拘束式比例制	非拘束式比例制	併用制	並立制	連用制	両立制
民意の反映	×	○	○	○	▲	△	○
「人」も選べる	△	×	○	△	△	△	△
恣意性の排除	×	○	○	×	×	×	×
投票のインセンティブ	×	○	○	○	×	×	○

○：満たしている ▲：ほとんど、満たしていない
○：ある程度、満たしている ×：満たしていない
△：あまり、満たしていない

に一〇%であれば、全国の自民党の議席二五〇のうちの一〇%，つまり二五議席を割り当たればいいし、五%であれば、五%の議席を割り当たればいい。なぜなら、五%の議席を割り当たればいいわけである。

このようにして各政党の各選挙区に当選者の枠が割り当たられる。次に、誰が当選するのかということが問題になる。それは、各党各選挙区候補者の、候補者名票の多い順に当選になる。こうして各選挙区の定数は各党各選挙区議席数の各選挙区別合計によつて決められる。したがつて、定数は選挙の得票に応じて選挙毎に自動的に決定されるわけである。こうした選挙制度のどのような点にメリットがあるのであるか。まず第一に、民意を反映している。得票率で議席数が決まるから当然である。また死票もほぼないといえる。

第二に、政治家の顔を選べる。非拘束式名簿であるから、候補者を選ぶことは可能である。並立制であれ併用案であれ六割あるいは五割程度の議席しか顔で選ぶことができないが、この選挙制度であれば全ての議席を顔で選ぶことができるわけである。第三に、一票の格差がない。投票率の相違で自動的に定数格差が解決されている。今回の小選挙区制選挙のように人口によって定数を割り振ると、一票の格差とい

うに決して解消することはできない。もし仮に人口四〇万人で一議席というように、きっちり区割りができる。その内の三〇万人が有権者であったと仮定してみよう。そして、Aという選挙区で投票率が八〇%、Bという選挙区で四〇%ならば、A区では二四万票で一議席、B区では一二万票で一議席となり、やはり一票の格差は二倍になってしまふ。したがつて、定数は投票の結果に基づいて決められるべきである。四番目に有権者の関心は高まる。つまり、投票率が高ければ高いほど、その地域は多くの定数、すなわち政治家を持つことができる。当然のように有権者の関心が高まることが考えられる。

なお、政党別に全国集計した票を各政党に割り当てる際に、サンラグ方式を使つたことは理由がある。比例代表における議席配分の方法としては、現在の参議院選挙で使われているドント式をはじめ様々な方式がある。これらをはじめて試みたときには、最も比例性が高いのか、つまり各党の議席率と得票率の関連が最も高くなるのかを試算をしてみると、サンラグ方式であることがわかつた。したがつて全国における各党別議席配分の方法としては、ドント方式ではなく、サンラグ方式を用いることにした。

こばやし・よしあき 一九五四年東京都生まれ。慶應義塾大学院を経て、同大学教授。ミシガン大学客員助教授。著書に「公共選択」

●近年、アテレクトミー、内視鏡下外科手術などかなり高度な技術面での発展に加え、ADA欠損症、その他への遺伝子治療など、病態の本質へのアプローチが可能となってきた。

●反面、薬害エイズで代表されるウイルス感染、O-157などの病原性大腸菌、レジオネラ菌による在郷軍人病、さらにエボラ出血熱、ラツサ熱などの国際感染症など、なお生命への脅威となっている。

●また消化性潰ようとヘリコバクターピロリ感染、プリオンと狂牛病、クロイツフェルドヤコブ病との関連が知られると共に、日和見感染や、MRSAなどの院内感染などが高齢者や膠原病などの免疫機能低下例にみられることなど、次第に大きい問題となりつつある。

●成人病領域では、悪性腫ようが今なお死亡率のトップを占めており、それに応じた緩和ケア、ホスピスなどの意義が注目されている。しかもコレステロール増加による冠動脈硬化と、それを基盤とした心筋梗塞、心不全への対応も重要である。高齢者における尿失禁、アルツハイマー痴呆なども介護面で大きい意味をもっており、ラクナ脳梗塞、骨粗鬆症なども社会的な大きい問題となっている。

▼O-157の複合薬害事件に発展した。

[Hemolytic Uremic Synd-
rome]

中毐というより赤痢、コレラなどと同じ感染症としてとらえるべきであろう。

医学用語の解説

中村治雄

防衛医科大学校教授



なかむら・はるお 1932年神奈川県生まれ。慶應義塾大学医学部卒。慈恵医科大学助教授を経て、現在、防衛医科大学校第一内科教授。著書は「血清脂質の異常とその治療」、「高脂血症」など多数。

97年の最新語

▼薬害エイズ

ウイルス)が感染することによって発症する感染症だが、我が国では汚染された輸入血液製剤による治療を行つたために感染した血友病(別項)患者が圧倒的に多いことから、「薬害エイズ」と呼ばれる。厚生省エイズ研究班の班長だった安部英・前帝京大学副学長は、非加熱血液製剤(別項)によるエイズ感染の危険性を認識しながら、安全な加熱製剤の緊急輸入を抑え非加熱製剤を使い続けたといふことで、業務上過失致死罪

の違いによって一七三種に分類され、O-157は157番目に認定されたことを意味する。大腸菌の多くは無害だが、このO-157は発症すると腹痛や下痢、血便を起こす。毎年一〇〇件程度はO-157による食中毒が厚生省に報告されているが、一九九六年(平成八年)には、五月末の岡山県での集団発生を皮切りに、七月末までに全国の感染者は八七〇〇人に達し、死者は七人を出した。ことに大阪市内では小学校の児童を中心とし、六五〇〇人に達し、死者一人を出したのもこの型。感染力が強く、ごく微量の数百個の細菌でも経口感染して発症する危険性がある。二次感染が起こりやすく、中毒というより赤痢、コレラなどと同じ感染症としてとらえるべきであろう。

起こり、両側の腎皮質に壊死が認められ腎不全が起こる。乳幼児期に起きやすいもので、原因は不明だが、九六(平成八)年に日本全国に大量発生したO-157(→別項)による感染症で、この症候群が誘発されて話題になつた。

▼**プリオン**

[prion]

脳がスponジ状になつて運動神経の障害を起こし、最後には死んでしまう牛の病気狂牛病(ウシ海綿状脳症)が一九九六年春、イギリスで発生して世界中が大騒ぎになつたが、その病原体とみられたのが、もともと生体内にあるタンパク質粒子のプリオンである。八二年、アメリカ・カリフォルニア大学のPrusiner教授によつて発見、命名された。狂牛病のほか、スクレイピィー(羊の病気)、クロイツフェルト・ヤコブ病(↓別項)などの原因になつているとみられる。ニューギニア島の高地住民であるフォレ族の女性に一九五〇年ごろ多発したクール病は、はじめプリオンの関与が疑われたが、その後、スローウイルスの感染によつて起こることがわかつり、現在ではまったく発生がない。だが、イギリス政府がウシの狂牛病は人間にとも感染する可能

新鮮な表現継続力のスタミナはユンケル皇帝液ある限り、息切れの心配はないか。　　〔流行語大賞〕

「流行語大賞」



オタクの語源

「オタク」という言葉は、もともとSFファン同士がイベントで集まる場などで使われる二人称として発生した。というのも、そういったSFのイベントでは、それぞれの人は単なる個人ではなく、各人の所属するサークルを代表する人間、といううらえられ方をしていたからだ。そのため「オタクのサークルでは」「オタクのグループでは」という意味での「オタクは」という呼び方が好まれた。この言い回しは、SFファンの間で爆発的に流行し、1982年のTVアニメ『超時空要塞マクロス』で、登場人物達が使うことによって、アニメファンにも一気に広まった。

その言葉の持つ都
こがれて、SFフ
コミックマ
どに

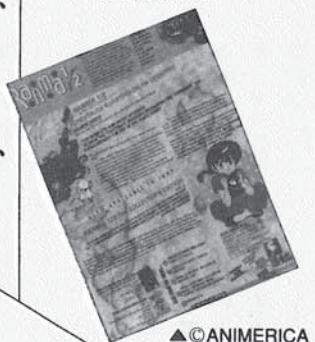
会っぽさ、上品さにあ
ンだけではなく、
ーケットな
参加

岡田斗司夫
おかだ としお

1958年大阪生まれ
国際オタク大学学長、
東京大学教養学部「オタク文化論」ゼミ講師



▲「超時空要塞マクロス」
第4話より。
©ピックウエスト



▲©ANIMERICA

新「オタク文化」講座

アニメ、ゲームの制作会社GAINAXを設立

映画『オネアミスの翼』、NHKアニメ『不思議の海のナディア』、

パソコンゲーム『プリンセス・メーカー』などを生む。

著書:『ぼくたちの洗脳社会』(朝日新聞社)、

するア
ン、マンガ
った人々も競っ
て使うようになる。
このオタクと呼び合
は1983年にロリコンマンガ
は1983年にロリコンマンガ
と命名。同時に、相手のことを名前ではなく「オタク」としか呼べ
ない」という否定的ニュアンスが付加された。

オタク族という新人類は、1980年代のバブル経済・サブカルチャー全盛時代に、一般人には全く理解されず、いつまでもマンガやアニメを見ている子供っぽいヤツ、ダサくてダメなヤツというレッテルが貼られる。それに追い打ちをかけるように1989年、連続幼女殺人事件が発生、マスコミの「容疑者M=オタク=社

対象が「好き」
恋愛、宗教

対象を
收集・研究

自分なりの
価値観で配列。
「史觀」を持つ



ファン



マニア



オタク

会不適格者」という偏向的な報道によって、人々の間にオタクはダサくてダメなヤツだけではなく、暗くてアブないヤツ、という決定的な差別感を植え付けることになった。

オタクの現状

1990年代に入って、セーラームーン、ドラゴンボールなど日本

のアニメやゲームが世界中で大ヒットしているという情報が日本に伝わり始めた。同時にハリウッド映画などでも、日本のアニメの影響が素人目にもわかる作品がいくつも発表されるようになる。

風俗・流行



▲OTAKONで、コスプレする人々

海外では、アニメ、マンガなどのファン=オタク=ダサくて暗いやつら、というイメージは全くない。急増する海外の日本アニメ、日本マンガファン達は明るく誇りを持って自らをOTAKUと称している。この現象がマスコミを通じて逆輸入されたのが、1996年である。

オタクという言葉は、オタク文化に対する海外からの高い評価によって大きく意味あいが変貌しつつある。

海外に広がるオタク文化

海外で日本のオタク文化が受けている、という事実を日本人に教えたキッカケは『パワーレンジャー』全米で大ヒット、という報道だった。「日本の特撮番組をアメリカで再編集して放映したら、アメリカの子供達に大人気!」というニュースが、1995年から何度もマスコミに報じられた。その他、翻訳されているマンガやアニメの種類も多い。

また、アメリカだけではなく世界各国でも同様の状況が観測された。例えばヨーロッパでもセーラームーンとドラゴンボールが大ヒット。イタリア国営鉄道の95年のキャンペーン・キャラクターはセーラームーンであり、乗換駅にはどこもセーラームーンの巨大ポスターが張られ、日本からの観光客を驚かせた。

東南アジア諸国も積年の問題であった海賊版商品群に関して、次々と権利問題をクリア。大々的にマンガ・アニメの販売を開始した。

産業としてだけではない。世界中の先端アーティスト達も、東洋の島国から来たこの独特の文化に注目し始めている。独特的のデフォルメを施されたキャラクター、ディズニーと全く違った様式の動き、この全く新しいスタイルは、彼らの目にも鮮烈に映

独自の美意識
を発見

たようだ。96年のニューヨーク現代アート展では、日本アニメの美少女をモチーフにしたアート作品が注目を集めた。

しかし未だ日本では、オタク文化といえば子供や一部マニアだけのもののように思われている。このままでは、かつての浮世絵のように、世界的に注目されているにもかかわらず、国内では全く省みられないまま終わってしまう恐れすら大きいにあるだろう。

テクニカル、
エンジニア
として観察

立派なオタクのあり方

アニメ・マンガにしか興味がない「旧世代オタク」と、現代の進化した「新世代オタク」を分ける要素はいくつかある。まず、単に好きなアニメ・マンガを見て終わってしまってはいけない。

たとえば、「スターウォーズ」というSFX映画が好きで、ビデオ

人間模様・
ドラマを発見

を毎週見返している。これは単なる「ファン」としての行為。

これが旧世代オタクになると、過去のTV放映版を全てコレクションしたり、未発表音楽CDを買ったり、映画雑誌のスターウ



▲@OTAKON'95

指南



ボランティア

用語の解説

和田敏明
[わだ・としあき]
全国社会福祉協議会全国ボランティア活動振興センター所長

introduction

●今年版よりボランティア用語解説が新設された。ボランティア活動は、一般的には、「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」を指す。ボランティアは「有志者」「志願者」という意味をもつ英語で、わが国においては適当な訳語がないままに、また「奉仕者」という概念では包みきれない言葉であることから、英語の呼称が使われている。その基本的な性格としては「自発性(自由意志)」「無給性(無償性)」「公益(公共性)」「創造性(先駆性)」がいわれている。

●ボランティア活動への参加意向は、急速に高まっており、参加者の考え方も、めぐまれない人、社会的弱者のためという一方通行の考え方から、お互いに、できることを他者や、社会のために行うという、支え合い、参加、相互性、共感性を重視する考え方へ変化している。ボランティアについてのイメージも、「時間やお金にゆとりがあり献身的に活動する特別な人」29%に比べ「仕事や家事のあいに気軽に活動する普通の人」と答えた人が67%(96年、NHK放送文化研究所)も居り、ボランティア像が、特別の人から普通の人に変わった。

護等の国際協力を実行するボランティア団体を指す意味で使われる場合もある。

欧米と違つてわが国ではNPO等にふさわしい法制度が未整備なため、かなりの規模の活動・事業を行い、有給の専門のスタッフを有するような組織でも多くが任意団体にとどまらざるをえず、組織基盤が脆弱である。しかし阪神淡路大震災におけるボランティア団体、NPO等の活躍によりてわが社会的支援の機運が高まり、NPO等にふさわしい法人制度等が検討されるようになつた。

▼ フィラントロピー
[philanthropy]

語源はギリシャ語の“Philanthropia”で、「人間愛」「博愛」の意。チャリティ(Charity: 慈善)に比べ、より幅広い概念として使われる。今日では、企業などが社会的な問題の解決を目指して行う公益活動や、非営利活動を指して使われることが多く、「社会貢献」「社会貢献活動」、「(企業)ボランティア活動」とも訳される。

企業によるフィラントロピー活動には、①企業が主体となる活動に対する寄付、物品等の寄贈(チャリティー・コンサートの開催)などを行なう形態、②従業員のボランティア活動に対する「ボランティア休暇制度」「活動費援助」などで支援する形態、③「マッチング・ギフト」(従業員の寄付金額に企業が上乗せして寄付を行うシステム)などのように、企業と従業員が協力して行う形態がある。

近年は、企業内にフィラントロピー担当セクション(社会貢献室など)やボランティアセンターを設置したり、支社、営業所を拠点とした地域に密着した活動を行うところも増加している。

▼ボランティア活動の分野

ボランティア活動には様々なものがあり、人として助けあ

ボランティアの基礎知識

▼NPO/NGO

[Non-Governmental Organization]

NPOは民間非営利団体、民謡公募組織など、NGOは

非政府組織と訳される。いざれも、非営利である(利潤追求、利益配分を行わないこと、非政府である(政府機関の一部ではないこと、自主的、自発的な活動を行うことを意味する。NPOはより非営利という性格を、NGOはより非営利という性格を強調している。

国でいうボランティア・グループやボランティア団体、市民団体、社団・財團法人、社会福祉法人などの公益法人の一部や協同組合などでも含む幅広い概念である。ただし、日本では実際にどのよう

な団体を指すのかについての社会的合意はまだない。また、とくにNGOというと、わが国では難民支援、環境保

社会福祉	介護、介助、保育等
保健・医療	病院ボランティア等
教育	料理、英語、書道等
自然・環境	美化、リサイクル、回収等
まちづくり、地域	まつり、こども会等
国際協力	通訳、難民、留学生等
その他	防災等

ボランティアの現場

い励ましあう活動や、心と心

のふれあいを大切にする活

動、また地域の中でお互いに

支えあう活動、そして国際社

会の一員として協力する活動

など、多様な広がりがある。

▼ボランティアに関する国際施策

では、村山内閣の懸案処理率をみると優等生政権だといふ。確かに自衛隊合憲、PKO、食管制度、原発、消費税、選舉区割り、厚生年金と、過去の歴代政権が泣いてきたテーマのオンパレードだった。

ボランティア

944



introduction

●1996年3月期決算では、大手の消費者金融会社が都市銀行をも凌ぐ過去最高水準の経常利益を計上。ときに、公庫住宅融資の返済遅滞者、都市銀行が抱える個人向け不良債権、個人の自己破産申立て件数などのデータは、軒並み過去最高レベル。それでもなお、銀行は個人向けの小口貸出等に注力する姿勢を強めている。今後は、個人個人が自らの生活を自己責任で防衛することの重要性が一層高まることだろう。

●96年から本格スタートした日本の証券自由化論議は、97年に一層活発化し、一部は実現の運びとなるだろう。なかでも最大の焦点となるのは「株式委託手数料の自由化」。東京市場のより一層の空洞化を避けるためには一日も早い実現が望まれるが、一方で証券会社は一段の合理化を迫られるとともに、業界再編の動きもより活発になることであろう。

●96年秋から、生・損保は子会社方式で互いの業務分野に本格参入。保険の自由化が目に見える形で展開し始めた。今後ますます競争が熾烈になるなかで、気になるのは個々の保険会社の経営体力の格差。利用者はより経営の健全な保険会社を選んで契約することが大切である。

▼利回り／年利
[interest/annual interest]

利回りとは投資した元本に対して一定期間にいくらの収益が得られるかを示すもので年間の利回りで表示する年利が最も一般的。表示はペーセント(%)。他に一日当たりの利

定義や意味するところをきちんと押さえておくことが非常に重要である。近頃人気の外貨建て資産などの場合、投資資料に表示された当初予定の利率が必ずしも

実際に受け取る収益率とは一致しないことも多々あります、「利回り」の概念はいつも大きな意味を持つ。

用語の解説

ホームエコノミー

今井森夫

経済評論家



いまい・もりお 1934年生まれ。幾つかの大学で客員教授として家庭株式会社論の講座を担当。家庭経済についての研究では第一人者。著書は『銀行づきあい98ヶ条』『定年と知的生活術』『定年の夫に妻がふともらした本音』など多数。

貯蓄・投資の
期間・単位・利回り▼キャピタルゲイン
[capital gain/income gain]

息を示す「月利」があるが、利回りを比較するときにはすべて年利に換算し直すのが一般的だ。この利回りには購入者から見た応募者利回りと、発行者から見た発行者利回りとがあり、例えば、公社債の応募者利回りは次のように計算する。

(額面金額×表面利率+発行溝額+償還年限)÷発行価格

ワードやビッグ、中期国債ファンドなどの利回りは、運用期間中の利子合計÷溝過年数

で計算され、これを年平均利回りと呼ぶ。

▼複利／単利
[compound interest/simple interest]

郵便局の定期預金や銀行の期日指定定期預金など継続的預

入れ預金に関して一定期間の利息が元本に組み込まれ利息が利息を生んでいくのが複利、当初元本のみを基準に計算されるのが単利。

複利運用型商品の利回りを単利の考え方で置き換えたものが年平均利回り。複利運用型商品には、期日指定定期、公社債投信(年複利)、定期郵便貯金、ビッグ、ワード(半年複利)、中期国債ファンド(一

▼インカムゲイン
[income gain]

キャピタルゲインとは投資元本に対する値上がり益・値下がり損(ロス)、インカムゲインとは利子収入のこと。一般に債券の利回りはその両方の要素を併せ持つ。また、投資信託の場合も両方の収益を合せて投資家に分配する。

流通利回りとも呼ばれ、既に債券の流通市場において表示されている利回りのことをいう。一般的には、その時点で流通量の多い公社債の実勢利回りが、新発債の発行条件に反映されることによって公社債市場の正常化が図られる。

▼実勢利回り

回りが、新発債の発行条件に反映されることによって公社債市場の正常化が図られる。

▼固定金利
[fixed rate]

預入れ時ある時は購入時に提示された金利が、市場の金利動向にかかわりなく満期(償還)まで適用される。銀行の商品は主に固定金利型だが、最近は各種ローレンや一部の預金に変動金利(→別項)を採用したものが増えている。将来、金利低下が見込まれる高金利時の資金運用では固定金利商品を選択した方がよい